

子供宝也

No.8

平成 26 年 5 月 8 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

ジイジ

1年生が学校探検でした。2年生が手を引いて、学校中を案内しています。校長室にもやって来ました。中にお通ししますと、ちゃんと「おじゃまします。」が言えました。

なんでもかんでも興味津々。歴代の校長の写真を見て、「おじいさんがいっぱいや。」ソファに座らせてあげると、気持ちよさそうに座っていました。「くらすに戻ってもこんな椅子やったらええのになあ。」と言うと一齐に「うんっ。」と言ってうなづきます。「子宝」を書いていると、私の周りにいっぱいやってきて、「お仕事、どうですか。」と女の子。「あ〜、こうやって手紙書いてるんや。」「校長先生が、つくってるんや。」「書くの、大変?」「子の手紙、今日、出るん?」「明日かなあ。」・・・。

ちゃんと「おじゃましました。」も言えました。

孫に囲まれたジイジでした。

少人数学習：6年4組

今年度から5・6年生の算数は、学級を二つに解体して少人数学習をしています。6年4組の授業を見ました。半分は教室で、半分は多目的教室で授業です。子度もつたいは、この少人数学習を同思っているのか聞いてみました。

- ・発表しやすい。
- ・当たりやすい。(発言の機会が多いということで、これはいいことだと感じている。)
- ・授業によくついていける。
- ・席が前の方になるので、黒板が見やすい。
- ・わかりやすい。
- ・聞き取りやすい。
- ・集中できる。

など、いいことだと感じている子どもがほとんどでした。一方、多目的室で授業を受けている子どものなかには、「忘れ物をしたとき、遠くて大変。」という意見もありました。でも、これだけ好評なら、うれしい限りです。

事前の打ち合わせや二つのクラスの進度を合わせるのが大変なのですが、先生には、がんばってもらいましょう。

うれしい電話

ご近所の方からうれしいお電話をいただきました。

家の前に郵便物が散乱していたのだそうです。それを本校の子どもたちが拾い集めて、ピンポン！

その方は、とても喜んでくださって、是非、学校へお知らせしたいということでした。心の優しい子どもが育っていて、その方以上に私の方が喜んでしまいました。